

## 中国語(看護学部)

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：演 習

単 位：1 単位

講義時間：30 時間

■科目的ねらい：入門中国語としての文字・発音・文法を学習しながら医療現場に役立つ基本的な用語・会話も学習する。また異文化コミュニケーションという観点から、中国に対する理解を深める。

■到達目標：①中国語で自己紹介ができる。

②中国語で初步的なコミュニケーションができる。

③医療現場での初步的なコミュニケーションができる。

■担当教員：照井 はるみ

■授業計画・内容：

第1回 ガイダンス：「中国語学習を始める前に」、「自分の名前は中国語で」、「挨拶用語」、「中国医療事情」

スライド・DVD鑑賞：「中日友好医院」（北京）、「馬偕紀念医院」（台北）、ルポ「中国的伝統と現代生活」

第2回 「発音I」・第1課 自己紹介

第3回 「発音II」・第2課 これは何ですか

第4回 「発音III」・第3課 これはいかがですか

第5回 第4課 買い物

第6回 第5課 どこにありますか

第7回 第6課 何がありますか

第8回 第7課 ホテルにチェックイン

第9回 第8課 何時に行きますか

第10回 映像で知る中国：ルポ「中国少数民族大運動会」、ルポ「伝承」、ルポ「中国の服飾」、京劇舞台版「西遊記—三打白骨精」／「中国茶を味わう」

第11回 第9課 タクシーに乗る

第12回 第10課 試着と支払い

第13回 第11課 苦情を訴える

第14回 第12課 紛失届けを出す／自己紹介練習

第15回 自己紹介発表会：全員が発表者で審査員

スライド鑑賞：「春節風景in台北・西安」、「胡同」、「パリの中華街&東洋美術館」他

■教科書：『最新版 1年生のコミュニケーション中国語』（CD付）白水社 2,200円+税

補助プリント：歴史・文化・社会・生活・医療用語・会話などのプリントを配付する。

■参考文献：『近くて遠い中国語』阿辻哲治著（中公新書）、『東京の台所・北京の台所—中国の母から学んだ知恵と暮らし』ウーワエン著（岩崎書店）、『知日』毛丹青ほか著（潮出版社）、『美麗島紀行』乃南アサ著（集英社）、『すぐ使えるナースのための中国語会話1000』石渡延男監修（桐書房）、他にガイダンスで配布する「参考図書目録」（大学図書館所蔵）を参照。

■成績評価基準と方法：定期試験（学期末）70%、授業態度・出席30%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	○	定期試験100点満点で80点以上取得のこと。	70
授業態度・発表	◎	◎	○	毎回授業に出席しその内容を習得することが基本。1回欠席で-5点。	30
出席				2/3以上の出席。	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：2016年の「言論NPO」の調査によると日本人の嫌中率は91.6%、中國人の嫌日率は76.7%、歴史認識・政治外交の面で相互不信の連鎖が続いている。一方中国からの旅行者数は499万人（台湾からは368万人）、中国人留学生数は9万4000人で来日留学生のほぼ半数を占める。自らの目で「日本」を体感した中国の若者は日本の文化や社会に対する認識を改め、人的交流を深め、経済と文化の両面で日中の関係を支える。札幌の街でも日常的に中国人に出会い中国語を耳にする昨今、本講座での中国語学習ならびに中国の近現代史・文化・社会・生活についての学習が、るべき隣人関係を考えるために第一歩となることを願っている。また医療用語や会話、伝統的民間療法「養生」についても紹介する。